

# すまいる

Smile

## 組織改編後…日産事業所

日産相模原部品センター内にある当社請負職場では、保坂主任をはじめ現在三八名の従業員の方が働いています。

年間九月と三月が繁忙期、週間では稼働日二日目  
が忙しくなります。人数が多いため管理も大変ですが、  
プロ意識・責任感の強い方が多いので、忙しい時期に  
は集中力が高まって、良い状態を保てる人が多いそ  
うです。

主任になって半年経った今、どういった思いで日々  
の業務に当たっているのか、保坂主任に伺いました。

★常に意識していること  
「整理・整頓」と、「お客  
様あつての仕事。接客はし  
ないけれど、客商売」とい  
うことです。

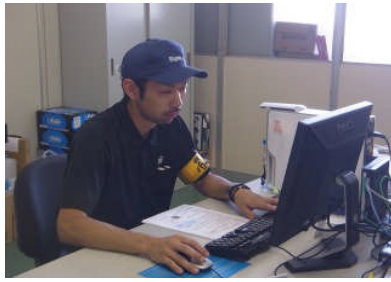
現場では効率化・ムダの  
無い動きが出来るよう工夫  
しています。また、お客様  
がいなければ私達の仕事も  
ないので、「真心を込めて  
ピッキングする」を皆で常  
に意識しています。

### ★大変なこと

日産様の企業内取組についての会議が多く、またその取組を日々  
意識付け・管理していくのがとても大変ですが、少しずつ意識が変  
わったなど実感したときは、やりがいに感じる事ができます。

### ★日産事業所で目標とすること

三八名という従業員数は、当社の中でも一つの事業所内では一番  
多く、世代・働く目的・それぞれの個性など全く違った人たちの集  
まりです。ひとくちに、「まとまるう」「いつも楽しい職場にしま  
しょう」と言っても、そう簡単には行きません。働くことは良いこ  
とばかりではないです。「今日も仕事に行くのが嫌だ」という職場  
ではなく、何となくでも「行きやすい」だったり、「行って少し頑  
張ってみるか」と皆が思える職場を目指して行きます。



イベント・ショーステージ前のスペース

## 日産地域感謝デー



十月三日、当社  
請負職場である日産  
相模原部品センター  
で、地域感謝デーが  
行われました。この  
イベントは地域との  
共生を図ることを目  
的として、毎年行わ  
れていて、今年の来  
場者数は一万四千人  
と大盛況でした。  
沢山の模擬店、戦  
隊もののショーなど、  
子どもから大人まで  
楽しめる内容でした。

毎年行われる大抽選  
会。日産様や他協賛企  
業からの協賛品が当選  
者にプレゼントされま  
した。当社の今年の協  
賛品は、空気清浄機で  
した！



抽選会後の協賛品授与の様子 (右)保坂主任



模擬店の様子

休日にも関わらず、こ  
のイベントのために協力  
して下さった従業員の皆  
様、ありがとうございます。  
まだ行ったことのない  
方は、是非来年参加  
してみてください。

第39号

発行日 2013年11月18日

発行者 総務グループ

[連絡先]

編集者 本社・総務グループ

TEL 042-779-6619

FAX 042-779-9594

[従業員数]

総員: 175人

男性: 106人

女性: 69人

[グループ会社]

総員: 10人

男性: 7人

女性: 3人

2013年11月15日 現在

### HPへアクセス!

UP!!  
社員紹介ぞくぞく  
増えてます♪

MI ミヨシ・ロジスティクス  
<http://www.mivoshi-log.co.jp>

ブログ更新中!  
ブログネタ募集中!

現場でサポート。一緒に解決  
工場サポート.com

<http://k-i-support.com/>

asaar cafe 2k540  
AKI-OKA ARTISAN.  
<http://www.cafeasan.jp/>

## 安全衛生

二〇一三年十一月九日から十五日まで、全国火災予防週間が  
実施されました。毎年春と秋に実施されるこの取組は、火災予  
防思想の普及を図り、高齢者などを中心とした死者の発生を防  
止し、財産の損失を防ぐ事が主なねらいです。特に十一月は秋  
も深まり、空気が乾燥して火災が起きやすい季節ですので、火  
の扱いには十分気をつけましょう。

また、二〇一一年の六月一日から消防法により煙式住宅火災  
警報器の設置が義務付けられました。基本は寝室と階段に設置  
、地域によっては台所なども義務の対象になっています。定期点  
検も行い、万が一火事の場合に逃げ遅れの無いよう備えておく  
必要があります。

今年の住宅防火取組内容で、身の安全を守る七つのポイント  
とスローガンがありますので、ご紹介します。

### ★三つの習慣と四つの対策★

- 寝たばこは絶対にやめる
- ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す
- 逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報機を設置する
- 寝具・衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を  
使用する
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体  
制をつくる

### ■スローガン 「消すまでは 心の警報 ONのまま」

寒くなってきましたので、火やガスを使う機会が増えてきた  
かと思えます。火元から離れたり、処理を怠ることは大変危険  
ですので十分注意しましょう。

住宅火災は自分や家族だけが被害を被るわけではなく、近隣  
住民にも被害が及ぶ可能性があります。出掛ける前、ちよつと  
した家の中の移動、就寝前など必ず確認して、自分で防げる範  
囲の対策をしていきましょう。

NEWS!!

「社外報」来年度1月から刊行!

- ★募集内容  
社外報の名前・その由来や理由
- ★期間  
十一月三十日までに各所属長に提出。
- ★応募単位  
個人でもグループでも可  
グループでの場合、表彰もグループ単位となります。
- ★応募方法  
別途配布した応募用紙、またはメール
- ★表彰  
採用(一作品)：五千円分のクオカード  
審査員特別賞(二作品)：二千円分のクオカード
- ★佳作(三作品)：千円分のクオカード  
以上をそれぞれ進呈いたします。
- また、応募して頂いた方全員に参加賞として、五百円分のクオカードを進呈いたします!
- ★発表方法  
十二月発行の第四十号紙面にて発表。
- 別途応募用紙を配布していますので、ご覧ください。
- 今後の当社を盛り上げる為にも、沢山の応募お待ちしております!!

「すまいる」に続く社外報名募集!

皆様、日々の業務大変お疲れ様です。今回、発表がごさいます。来年度1月から、この社内報は、「社外報」へと生まれ変わります! 初刊行から三年と二ヶ月、記事集めやレイアウトに時間が掛かり苦戦しても、毎月欠かさず発行されて来ました。様々な企画や記事のための取材にご協力下さった皆様、本当にありがとうございます。当社をもっと沢山の方に知って頂けるよう様々な方へ発信していくため社外報に変わります。そこで!

新しい社外報の名前を社内公募で決定します! 「すまいる」が決まった際も沢山の応募がありました。是非皆様奮ってご応募下さい!

職場の教養

今月の心がけ

「《お陰》の精神を大切にしましょう」  
「成功は他人のお陰」  
人は心の奥に、「自分の能力を認めてもらいたい」という承認の欲求があります。  
この欲求は、成功するにつれ自分の手柄にたくなり、反対に、失敗すると誰かに責任を転嫁しがちという心理作用として働いてきます。

日本には、「俺が俺がの『我』を捨てて、お陰お陰の『下』で生きよ」という昔からの教えがあります。  
成功した時は、自分の事を誇るのではなく、協力してくれた人たちを全面に出さないという教えです。「皆さんのお陰で成功することができました。ありがとうございます」と、感謝の心で頭を下げます。  
失敗したときは、「私の力が及ばず、目標を達成することができませんでした」と頭を下げるのです。テレビをはじめ、マスメディアでの表彰やインタビューを見ても、言葉の中に人間性が現れるのがよくわかります。  
自分の手柄を誇示するのは、自分を小さく見せるだけで、今後の協力も得られないことを知るべきでしょう。

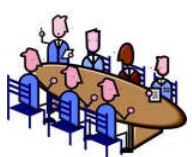
二〇一三年 十一月号 職場の教養 十九ページより  
【社団法人 倫理研究会】



12 月行事予定



- 1週目 幹部連絡会 (本社会議室/12:30~)
- 4週目 全社安全衛生委員会 (本社会議室/16:30~)
- 4週目 仕事納め



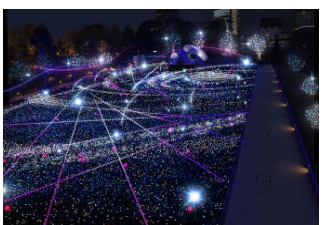
季節の雑学

寒くなって来ましたね。空気が澄んで、イルミネーションのきれいな季節ですので、その歴史を振り返ります。

寒い季節と言えばイルミネーション。その始まりは、16世紀にまで遡ります。キリスト教のミサの掃り道、森の中で空を見上げたマルティン・ルターは、満天の星空に感激しました。どうにかして再現できないかと、木の枝に沢山のろうそくを飾ってみたことが最初だったと言われています。しかしこの方法は木に火を付けていることと変わらないので、火事が絶えなかったようです。

20世紀初頭にはエジソンによって電球が開発されました。エジソンは電球をいかに売れるかを考え、電球を飾り付けたツリーを街に置き、当時うるさかった発電機は10キロ以上離れた場所に設置することで、静かで美しい電飾を実現しました。すると、ろうそくを灯すのではなく、電球を飾りつけるものが流行り、主流となったのです。

商業施設は集客効果のために電飾をしている、という所が多いですが、冬は日照時間が短いです。きらきらした電飾は、暗い道を照らし、安全や安心感を人々に与え、癒し効果もあります。明るくきらきらした街が見られるのは、平和の証かもしれませんね。



28万のLED電球を使った東京ミッドタウンのイルミネーション(2013年12月25日まで)

編集後記

◆編集 小船  
急に寒くなってきました。皆様体調管理はしっかりと風邪などひかないよう注意しましょう!  
社外報名、皆様からのご応募お待ちしております。

◆編集 岩間  
私は今月から重工事業所へ現場研修に行っています。現場の皆さんから沢山の事を学ばせて頂いています。また、現場は冷えますので、カイロを沢山貼って寒さ対策をしています。  
今月号では社外報の名前を募集していますので、是非ご応募ください!  
沢山のご応募お待ちしております。

